

## 羽ばたけ! TUT2021 報告書概要

3系

( B ) 4年

参加プログラム名	Swinburne University of Technology "English for Uni"
研修期間	2021年 8月 16日 ~ 2021年 8月 27日
研修先機関名・ 所在国	Swinburne University of Technology ・ オーストラリア
研修の概要 (研修テーマや課題、目標・目的や主な研修活動内容、研修で達成したこと等を簡潔にまとめて書いてください。)	<p>主な研修内容は語学研修、ワークショップ、現地学生との交流、バーチャルツアー、バーチャルホームステイでした。また、研修参加者で自主的にフリートークセッションを開催し、これにも参加しました。</p> <p>活動中は常に英会話をしており、とても実践的な学習ができました。研修を通して英会話能力が特に向上し、ほとんど話せなかったレベルから簡単なコミュニケーションをスムーズにこなせる程度まで成長しました。また、研修時間外で自主的に勉強会を開き継続的に学習をしました。それによって基礎的な語彙や文法を身につけることができ、また、継続的に学習をするという継続力も向上しました。</p>
活動写真 1枚 (修了証の写真でも可)	

## 羽ばたけ! TUT2021 報告書

### 研修内容

参加の目的は、語彙や文法などの知識を深めながら、特に日常のコミュニケーションで使える英語など、スピーキングについて学習したいと考えていました。英会話の際、じっくりと考えないと英文を組み立てられなかったため、よりスムーズに英会話ができるようにしたいと考えていました。また、他の英語を学習する意欲のある参加者や、海外の学生、ネイティブの方などと積極的にコミュニケーションをとることを目標にして取り組みました。

研修内容は、2週間のうち6日が授業形式でのセッション、その他4日間はスウィンバンの大学や地域のバーチャルツアー、現地学生とのパディセッション、バーチャルホームステイでした。また、参加者が主体となって自主開催したフリートークセッションを研修期間中に2回行いました。研修参加中は常に英語のみでコミュニケーションをとっており、徐々にリスニングとスピーキングがスムーズになっていきました。具体的には、最初はリスニングの際聞き取った英文を頭の中で和訳しながら意味を理解していたためネイティブのスピードに解釈が追いつけなかったところ、慣れてきたあとは和訳を仲介せず直接意味を解釈できるようになっていきました。スピーキングも同様に簡単なことなら日本語をイメージしなくとも英語のフレーズが思いつくようになりました。授業では、基本的に参加者4人程度の小グループに分かれて、その中でさまざまな議題についてディスカッションをし、授業セッションの終盤では、日本のストーリーを2分でプレゼンするというものを行いました。私は、千と千尋の神隠しについてプレゼンしました。ストーリーをプレゼンするのにまずストーリーを英語で書き起こし、その後イラストや写真などを用いてスライドを作成し、そのスライドを正しい発音でスムーズに話すことができるように練習しました。現地学生とのパディセッションでは、積極的に会話をすることができました。ネイティブな方との会話は少し早く聞き取るのが難しかったのですが、文章全体を聞き取れなくても、聞き取れた重要なワードと会話の流れから大まかに捉えることができました。会話中のスピーキングでは、最初は完璧な文章を作ることを目標とせず、単語の組み合わせでも良いので積極的なコミュニケーションをとることを第一目標としていました。その結果、他の参加者のフレーズなどを参考にし、徐々に文章を考えるのにかかる時間を短くできた。そのため英語でのコミュニケーションを円滑に進める能力が向上したと感じました。しかし、文法などを意識して会話をすると余裕がなく、正しい文章を考える練習は今後もっとしなければならぬと感じました。バーチャルツアーでは、大学敷地内や地域のビデオ紹介を見ながら、紹介されている内容を聞き取る練習になりました。英語であいまいにしか聞き取れなかった部分は、映像を見て内容を理解するのに役立てました。映像を見ながら英語をリスニングする機会は少なく、とてもいい練習になったと感じました。映像を見ながら英語を聞くことで、内容と映像のイメージが結びつき、聞き取った内容を和訳を介さずに理解する能力の向上につながったと思います。また、海外の大学と地域をバーチャルではあるもののツアーしたことで、海外への興味や英語学習への意欲がさらに増し、とてもいい経験になったと感じました。バーチャルホームステイでは、現地のホストファミリーとオーストラリア特有のスラングのようなものを教わったり、オーストラリアでの一般的な食事、家庭環境などの話を聞くことができました。どの話も日本にはわからなかった新鮮な内容で、こちらもバーチャルツアー同様に海外への興味、英語学習への意欲の向上につながりました。また、学生主体で自主開催したフリートークセッションでは、英会話の練習をメインにしながらも、日本語で普通に他の参加者と会話を楽しんだり、他の英語を学習している人たちとのコミュニティーを増やすことができました。特に、英語でしゃべりたいことが表現できなかつたりした部分を日本語で質問することができたため、全体的

に会話のスピードが上がり、結果的に英語を発言する機会を多く得られたためとても良いものとなったと思います。

研修期間中は、プログラム時間外で友人と英語の基礎力を高めるための単語や文法の勉強会を平日5日2時間ずつ継続して行いました。この勉強会はプログラム修了後も継続して行っており、特に単語力を急速に向上することができました。ボキャブラリーが増えたことで、リスニング中わからない単語が聞こえて思考停止してしまうということが圧倒的に減り、リスニングに特に貢献したと感じました。学習した内容を定着させられるよう今後も継続して勉強していきたいです。また、勉強会以外にも、英語を題材とした youtuber の動画を見て、教科書に載っていないような英語のトピックや、英語のことわざ、リスニングのコツ、TOIEC の勉強方法などを学びました。英語のカルチャーを知ることができ、純粋に英会話をにできるようにになりたいという意欲が増しました。

今後の目標は、まずは TOIEC でのスコアアップを短期的な目標とし、これからも継続的に英語を勉強していくことです。TOIEC の目標スコアはまずは 600 点を目指し、そこから徐々にあげていき、最終的には 700 点代を目指していきたいと考えています。これを達成するための課題としては、もともとリスニングに比べリーディングが不得意であったため、文法、語彙を鍛え、文章を読むスピードを向上させることがあげられます。現在、勉強会の時などに、短い英語の文章を読む練習などを行い、素早く解釈できるよう目指しております。

当初設定した行動目標は、プログラム時間外で基礎的な語彙や文法を自主学習する、学んだフレーズ等を活用し日常会話での英語の文章力を身につける、オンライン留学というインタラクティブな場を最大限活かせるよう積極的な発言をする、英語の文章を構築する速度を向上させる、普通の勉強では行にくい英語の発音やリスニングに関する学習を工夫して継続する、英会話以外の文章を読む練習をする、としていました。これらの達成度合いは、プログラム直何階での自主学習は非常によく達成されたと考えています。英語の文章力を身につけることもでき、正しい文章ではないもののコミュニケーションを取れるようになりました。また、自主学習の際、語彙の勉強の際に発音を意識して学習し、読めるだけでなくしっかり聞き取れるように意識して学習しました。しかし、積極的な発言をするという点は他の目標と比べるとやや努力が足りなかったと感じております。間違った発音や文法、言いたいことが英語でなんと伝えればいいかわからない時などに発言が少なくなってしまうため、その時にも英語ではどう伝えればいいのかを質問するなど改善できたと考えます。

研修を通して、他の参加者から、好きな映画を英語音声で字幕などを活用しながら見るという学習方法を聞き、その際に役立つ Google の拡張機能を教わったため、当初設定した研修後に実践する行動の、Youtube の動画などを用いて英語の発音やリスニングに関する練習を継続するという点を見直して、映画なども今後積極的に活用していきたいと考えました。また、当初自分が思っていたよりも文法が苦手だと気づいたため、今後は特に文法を勉強する必要があると感じました。そのために TOIEC でのスコアを指標とし、目標スコアを短期的な目標を立てながら勉強を続けていきたいと思っております。

本プログラムは、スウィンバン大学のスタッフや現地学生の方々がとても親切にしてくださり、緊張で喋りにくくならないよう親しみやすい雰囲気をお願いしたため、とても楽しく参加することができました。バーチャルツアーなどでオーストラリアの観光名所などを紹介され、実際に行ってみたくなりました。また、他の参加者との交流が深まり、今後の英語学習の継続のモチベーションを向上させることもできました。自主的な勉強会は、もともと継続的に学習をすることが苦手だったため、それを克服するためにもこの機会に継続力を高めようと思い始めたのですが、英語学習を日

常の一部に感じることができるようになることで継続が苦にならないと感じ始めました。本プログラムではたくさんのごことを得られたと思っています。